

公立鳥取環境大学経営学部

竹内中尾磯野ゼミによる

マーケティング系

卒論報告会

2 / 4 (火) 11:00 - 19:00

環境大学サステナビリティ研究所内

関心のある人は誰でも参加・見学・飛び入り報告可能です。

入退室自由

田川由華 ワークライフバランスとイクボス施策
ー鳥取県企業を事例としてー

近年の日本では共働き世帯が増加しており、多様化する働き方に企業の施策が求められている。その中で、仕事と家庭の両立を支援する「イクボス施策」は、育児休業取得率が比較的低い男性に対してどのように影響するのか組織風土の観点から検討したい。

泉 透貴 書店ビジネスにおける差別化要因

近藤晴香 ビブリオバトルから考える新しい価値
創造

坂本直紀 プロ野球チームにおけるプロモーション
活動とマスコットの関連性

仕田原拓磨 自動二輪業界におけるターゲットの
変化

杉本梨玖 マーケティングから考える劇場版名探
偵コナンとその人気

田原こころ ガールズバンドの「SHISHAMO」の
特異性

日浦佳穂 乙女ゲーム遷移 なぜ消費者はハマる
のか

古井慎也 声優ビジネス 消費者は何を購買して
いるのか

山中 薫 マーケティングの観点から考えるテマ
パークの生存戦略

松本果子 北条旧市街地の地域ブランド化の現状
と今後

兵庫県加西市のシェアキッチン「おちゃのみ」では、様々な制約があるなかでどのような品揃え、ブランドを作れば成果を上げられるのか。知見として、品揃えのカテゴリーを1つに絞る、運営や出店者同士で協力をする、覚えやすく品揃えと関連する屋号を用いる、店頭外で視認性とプレゼンスを高める、ことが重要であった。

奥田菜々子 鳥取砂丘ブランドがもたらす価値とは
鳥取には砂丘に関する土産物が多数存在し、これらは記号的価値を有している。砂丘という記号の価値はどれ程鳥取特有と認識されるかに依存すると考え、本論文では砂丘という記号にどれ程の価値があるのかを明らかにした。調査の結果、砂丘の魅力は消費者による土産物の購買パターンによって左右されることがわかった。

古川以呂巴 鳥取の観光地としての期待と満足
JCSI因果モデルの顧客期待と顧客満足に焦点を当てて調査を行った結果、鳥取砂丘の事前期待と満足度の低さなど鳥取の観光地に関する問題点を明らかにした。また、調査結果を考察した結果、鳥取県に訪れる観光客は風景・景観に期待し、全体的に満足しているなど理解が深まった。

野津奈穂 ローカルアイドルを支える消費者心理
近年、日本の音楽業界には多くのアイドルグループが存在しており、活動スタイルは多種多様である本論ではローカルアイドルに焦点を置き、彼女たちを応援している要因として考えられる消費者の承認欲求やアイデンティティとの繋がりについて先行研究レビューやインタビュー調査をもとに明らかにしていく。

武安咲希 音楽フェスティバルのさらなる集客数
増加及び市場拡大戦略

近年、音楽フェスティバルはその数と共に来場者数も増加している。なぜ音楽フェスティバルに参加するかを、集合的沸騰によるフロー体験によるものであることを想定して調査した。その音楽フェスティバルへの参加動機はライブを実際に見たいということに加え集合的沸騰によるフロー体験というのが大きな要因であり、またそれはリピート参加への意欲にもつながっていくものであるという知見が得られた。

芝田朋輝 ポケモンGoが消費者にもたらす影響

本論文はポケモンGoユーザー特有の消費者行動を明らかにすることを目的とする。インタビュー調査の結果、ポケモンGoの準拠集団がユーザーに様々な影響を与えていることがわかった。その準拠集団の存在がポケモンGoユーザーに対してどのような変化をもたらしたのかを考察した。

森井桃子 カフェビジネスの成功要因について

本研究では鳥取市のカフェ利用者を対象とした調査を行い、大手カフェチェーン店が出店する前後の個人経営の喫茶店に対する行動意図の変化を明らかにする。調査の結果、過去と現在で利用者の生活やカフェに対して重視するものが変化しており、利用者の態度や行動統制感に変化が見られたことから、行動意図の変化が確認できた。

川上怜士 飯積神社祭礼が尊重すべきは伝統か合
理化か

平位瑞希 DIY女性人気沸騰の背景から考察する
有効なマーケティング戦略

近年、DIY市場が停滞しているなか、DIYの女性人気が目まぐるしく伸びている。本稿では、女性の消費行動に焦点を当て、定性インタビュー調査を用いてそれを理解することで、女性がDIYを行う意義を考察した。その結果として得られた知見とは、女性は準拠集団とのつながり、さらには人生の充足感を求めてDIYを行っているということである。

松下幸祐 多彩化するドラッグストアの品揃え